

Apeos 3060
Apeos 2560
Apeos 1860

リファレンスガイドは、公式サイトでご覧になれます。
Reference Guides are available on official website.
弊社公式サイトの検索バーで、お使いの機種名を検索してください。



<https://www.fujifilm.com/fb/support>

取扱説明書

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

ご使用前に必ずお読みください

本機を使用される前に、『リファレンスガイド 本体編』に記載されている「使用権許諾条項」(アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項)を必ずお読みください。

リファレンスガイドは、公式サイトでご覧になれます。

各ソフトウェアは、対象となる各条項にご承認いただける場合のみご使用ください。使用を開始されたときは、各条項のすべてをご承諾いただいたものとさせていただきます。もし、「ソフトウェア使用許諾事項」にご承諾いただけない場合は、本商品をお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

2024年3月 GM1679J1-3 第1版

操作パネル

■ 操作パネルの機能

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。

1. 電源/節電ボタン

電源が入ります。



- 「お待ちください...」が表示されているときは、本機のウォームアップ中です。この間は、使用できません。
- 電源が入らない場合は、電源プラグが差し込まれていることを確認してください。

2. NFCタッチエリア

お使いのNFC対応モバイル機器をかざすエリアです。相互通信するには、本機のNFC機能が有効になっている必要があります。

3. データランプ

本機からデータを送信中や、クライアントコンピューターからのデータを受信中に、点滅します。

また、機械内部に文書を蓄積しているときや、ファクス親展受信文書がボックス内に蓄積されているときは点灯します。

4. 状態表示ランプ

操作を受け付けた瞬間、緑色で点灯します。エラーが起きると、オレンジ色で点滅します。

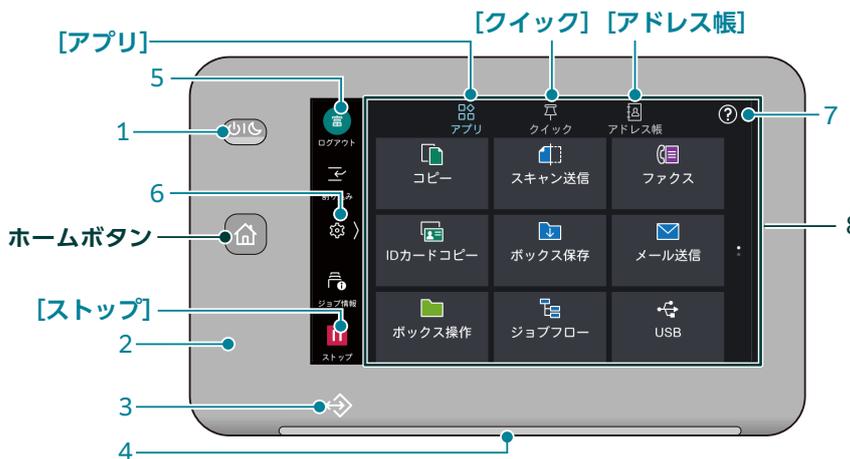
5. ログイン

ユーザーIDを入力してログインすると、認証されます。機械管理者権限でログインすると、「[機械管理者]」と表示されます。認証中にタップすると、ログアウトして未認証になります。

6. メニューを開く

タップするとメニューが開き、本機の設定を変更したり、設定内容を確認したりできます。

[<] をタップするとメニューを閉じます。



7. ヘルプアイコン

操作方法を確認できます。初めて使用するときは、機械管理者モードで利用規約に同意する必要があります。

8. ホーム画面

アプリ/クイック/アドレス帳画面を切り替えて表示できます。

- [アプリ]：アプリケーションアイコンをタップして、機能を利用できます。
- [クイック]：ジョブ指示履歴と、ユーザーが [ピン留め] したジョブ指示履歴からジョブを再実行できます。ジョブ指示履歴をピン留めしておく、アプリを開かずに直接ジョブを起動できます。
- [アドレス帳]：宛先などの情報を登録します。登録した宛先からアプリを起動できます。アプリの起動後は、選択した宛先がアプリの送信先に設定された状態になります。

■ 電源を切る

電源を切ると、本機のすべての機能が停止します。

🔔 注記

次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。

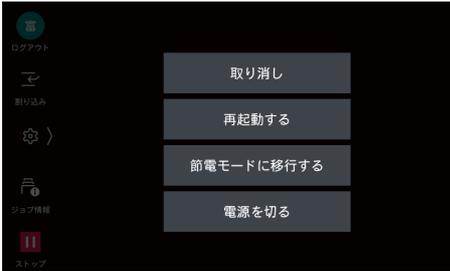
- データ受信中 (データランプが点灯している)
- 用紙の排出終了後、5秒以内
- コピー、または スキャン中

1. 電源/節電ボタンを押します。

🗨️ 補足

電源/節電ボタンを長押ししても、電源が切れます。

2. [電源を切る] をタップします。



ピン留めしたジョブ指示履歴からジョブを実行する

[クイック] 画面でピン留めされたジョブの右側の  をタップして、[今すぐ実行] をタップします。



■ ピン留め

過去に実行したジョブのジョブ指示履歴をピン留めすると、同じ設定で簡単にジョブを実行できます。

🗨️ 補足

- ジョブ指示履歴およびピン留めは、ユーザーごとに管理されます。
- ピン留めされたジョブ指示履歴は、上書きされません。
- 機械管理者モードで作成された [ピン留め] はすべてのユーザーに共有されます。
- 共有された [ピン留め] の変更/削除は、機械管理者モードで実施できます。

ジョブ指示履歴をピン留めする

1. ログインします。

2. ホーム画面で、[クイック] をタップします。

3. ピン留めしたい履歴の右側の をタップし、[ピン留め] をタップします。



用紙のセット

注記

- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- プリンターがジョブを処理している間は、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

補足

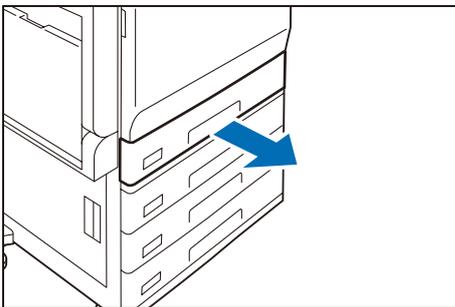
用紙を用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙のくっつきをなくして、紙詰まりを起こしにくくします。

トレイ1~4に普通紙をセットする方法を記載しています。

セットできる用紙

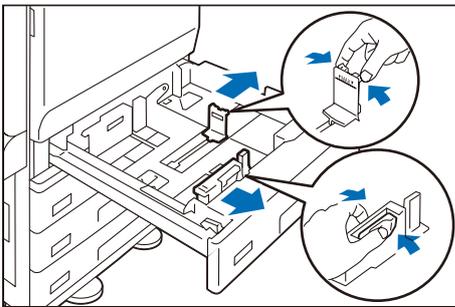
用紙サイズ (mm)	たて：140~297、よこ：182~432
用紙坪量 (g/m ²)	60~256

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。

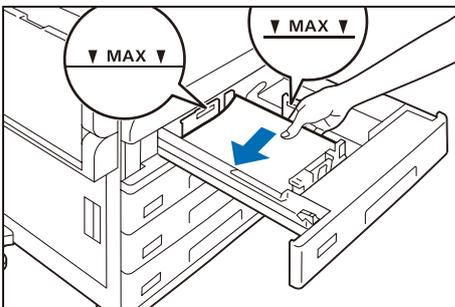


2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3. 2か所のガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。



4. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

補足

ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

5. 用紙トレイを押し込みます。

6. 用紙種類を変更した場合は、設定画面で用紙トレイの設定をします。

1. [設定] > [用紙トレイ設定] をタップします。



2. 用紙をセットした用紙トレイの番号をタップしたあと、用紙の項目を設定し、[OK] をタップします。

7. プリントするときは、プリンタードライバーで、用紙設定をします。

コピー/ファクス/スキャン

1. 原稿をセットします。



原稿送り装置

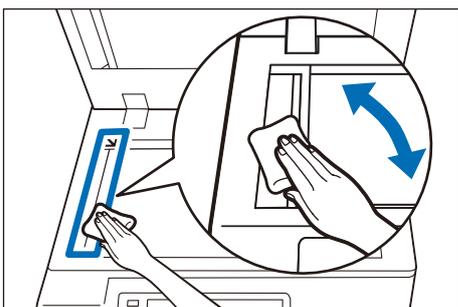
セットできる用紙

		B3-PC	
用紙サイズ (mm)	たて	125~297	49~297
	よこ	85~432	85~432
用紙坪量 (g/m ²)	片面時	38~128	38~128
	両面時	50~128	50~128

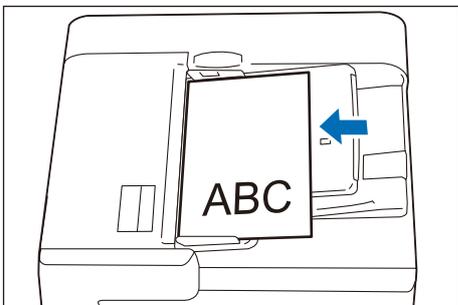
補足

- ファクスキットが取り付けられている場合のセットできる用紙サイズは、よこ：~600 mmです。
- B3-PCが取り付けられている場合にセットできる名刺のサイズは、たて：~55 mm、よこ：~91 mmです。用紙坪量は~209 g/m²です。

1. 原稿カバーを開きます。
2. 原稿ガラスの左側にある、細長いガラスと白いプラスチック部分の汚れをふき取ります。



3. 原稿カバーを閉じます。
4. 原稿にフセン紙やテープ、ホチキスやクリップなどがついていないことを確認し、しわや折りが付いている原稿はきちんと伸ばします。
5. 正しく原稿サイズを検知できるように、原稿の左上の角をそろえます。
6. 読み取る面（両面原稿の場合は、おもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



注記

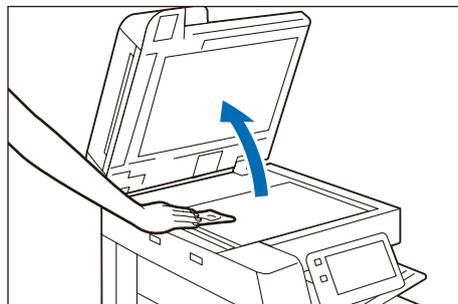
用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

原稿ガラス

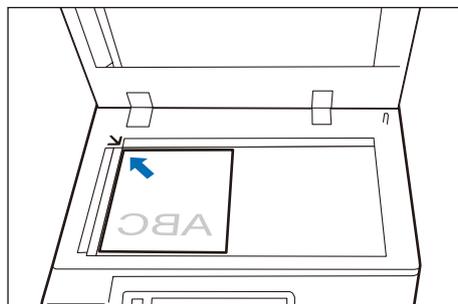
セットできる用紙

用紙サイズ (mm) たて：~297、よこ：~432

1. 原稿カバーを開き、原稿ガラスの汚れをふき取ります。

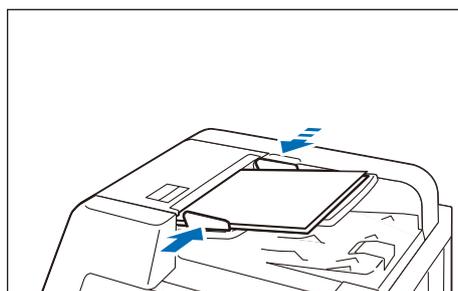


2. 読み取り面を下に向けて、原稿ガラスの左上の角に合わせて原稿をセットします。

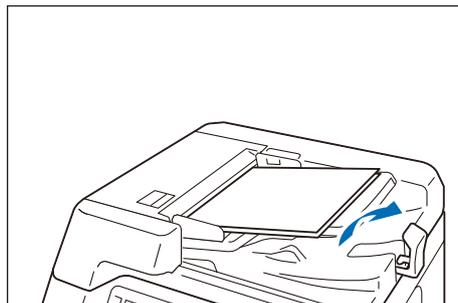


3. 原稿カバーを閉じます。

7. 原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。



8. 原稿受けストッパーを開きます。



2. [アプリ] 画面で目的のアプリケーションアイコンをタップします。

コピー



スキャン

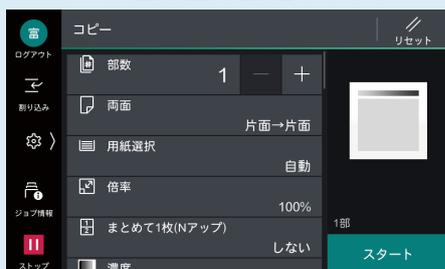


ファクス



コピー

1. 必要に応じて、各項目を設定します。



2. [スタート] をタップします。

ファクス

1. キーボード入力、またはアドレス帳 (👤)、リダイヤル (📞) をタップして、宛先を指定します。



2. [完了] または [OK] をタップします。

3. ☰ をタップし、必要に応じて、各項目を設定します。

4. [スタート] をタップします。

スキャン (メール送信)

補足

- スキャンの方法は、ほかにも [ボックス保存]、[スキャン送信]、[USB]、[WSD スキャン] があります。
- メール送信をするには、本体のメール環境を設定しておく必要があります。

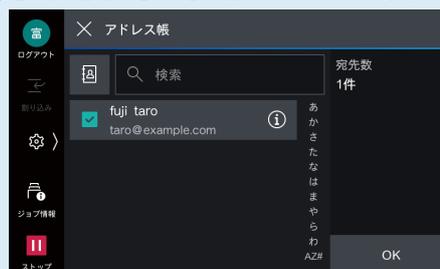
1. キーボード入力、またはアドレス帳 (👤) をタップして、宛先を指定します。



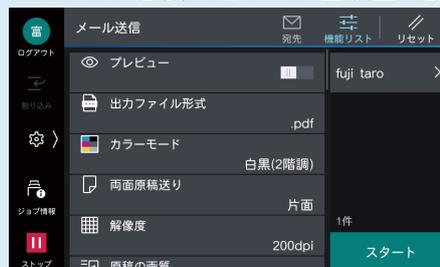
補足

- キーボード入力で複数の宛先を指定する場合は、[宛先を追加] をタップし、続けて宛先を入力します。
- 宛先の種類 (To/CC/BCC) を変更するときは、[To] をタップします。

2. [完了] または [OK] をタップします。



3. ☰ をタップし、必要に応じて、各項目を設定します。



4. [スタート] をタップします。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。

各警告図記号は次のような意味を表しています。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。			
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。			
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。			
<p>△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。</p>					
					
注意	静電気 破損注意	発火注意	破裂注意	感電注意	高温注意
					
回転物注意	指挟み注意			回転部注意	
					
鋭利部注意					
<p>⊘ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。</p>					
					
禁止	火気禁止	接触禁止		風呂等での使用禁止	
					
分解禁止	水ぬれ注意	ぬれ手注意			
<p>● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。</p>					
					
指示	電源プラグを 抜く	アース線を 接続せよ			

電源、およびアース接続時の注意

警告

 本機の後方から電源コードとともに出てくる緑色のアース線を必ず次のいずれかに接続してください。接続せずに使用した場合、感電および火災事故の原因になります。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを850 mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご相談ください。次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話専用アース線、および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

アースとの接続が不十分な場合、感電および火災事故の原因になります。

 本機にはD種設置工事を必ず実施してください。接続せずに使用した場合、感電および火災事故の原因になります。

 電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。定格未満の延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となります。電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご相談ください。

 本機の定格電圧値、および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値、および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

 電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。

 電源コードにものを載せないでください。

 電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などによって表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となります。

 同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。火災、感電の原因になります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

❗ 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

🔧 本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

🚫 本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによってプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

❗ 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

🔧 連休などで長期間、本機（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。なお電源を切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。

❗ 1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか
 - 電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか
 - 電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか
 - 電源コードにきれつや擦り傷などがないか
- 異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

■ 設置時の注意

⚠ 警告

❗ 本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

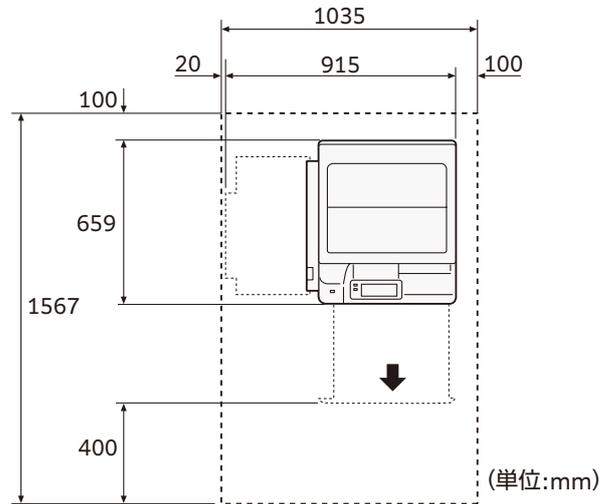
- 🚫 次のような場所には、本機を設置しないでください。
- 発熱器具に近い場所
 - 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
 - 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 調理台や加湿器のそばなど

🚫 本機の包装に使用している袋、シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。

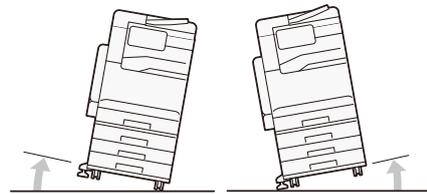
❗ 本機は、約50 kg（最小構成時）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

❗ 本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、次の図の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜くことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

最小構成時



❗ 本機を10°以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



❗ 本機を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、本機が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

❗ 本機の電線やケーブルを束ねるために、ケーブルタイやパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外の部品のご使用は事故の原因となる場合があります。

■ 機械使用上の注意

⚠ 警告

 マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

 本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。

 次のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- プレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本機の内部に水が入ったとき
- 本機が水をかぶったとき
- 本機の部品に損傷があったとき

 本機の間隙や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

 電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙/導電性インクによるプレプリント紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

 本機の性能の劣化を 방지安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に本機が押された場合に本機全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用してください。

 用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

 付属のメディア（CD-ROM、DVD等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を負ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

⚠ 注意

 本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。

 本機の安全スイッチ（セーフティインターロックスイッチ）を無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

 本機の内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源を切り、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

  フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。

   詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

 まれに排出された用紙に針が付着する場合がありますので、指などにケガをしないように十分に注意してください。

 安全スイッチ（セーフティインターロックスイッチ）には、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが動いて、本機は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、本機は作動状態になり、ケガの原因となる場合があります。

 穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。

 書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

 長時間本機を使用するときは、1時間ごとに10～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。

 本機を移動するときは、弊社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。

 換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピー（またはプリント）すると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

■ 消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告

！ 消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

！ こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。本機内、およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもやめてください。掃除機を使用すると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火、または爆発するおそれがあります。床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。大量にこぼれた場合、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

🚫 トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火、または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

！ ドラムカートリッジやトナーカートリッジは、幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

！ ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、目や口に入らないように注意してください。

！ 次の事項に従って、応急処置をしてください。
トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、目の痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。また、すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

■ SDS（安全データシート）の提供

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社公式サイトで公開しています。

規制について

⚠ 警告

■ 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ 受信障害について

⚠ 注意

！ ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本機の電源を切ってください。

電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて、障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変える
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離す
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変える
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変える（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変える

■ 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合していません。

ソフトウェアのダウンロード

プリンタードライバー、ファクスドライバー、スキャナードライバー、ユーティリティーなどの、最新版のソフトウェアは、公式サイトから入手できます。

<https://fujifilm.com/fb/download>

エラーコードが表示されたときは

エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、タッチパネルディスプレイにメッセージとエラーコード（***.***）が表示されます。

エラーコードの原因と処置方法は、公式サイトで確認できます。

1. 弊社公式サイトにアクセス
2. 検索ボックスにエラーコードを入力し、検索
3. 商品名を入力し、検索

EP-BBサービス

機械管理者モードで、 > [設定] > [保守] > [EP診断/修理依頼] をタップすると、弊社のカスタマーコンタクトセンターに点検・修理を依頼できます。



保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文

カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。電話番号は、機械本体に貼り付けのカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く
9時～17時30分（一部の地域では異なります）

電話番号 機械本体の貼付カードをご確認ください。

●ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター

電話：0120-27-4100（通話料無料）

FAX：0120-05-5035（通話料無料）

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く
9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。
また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

Apeos 1860をお使いのお客様は必ずお読みください

ソフトウェアの使用許諾について

同梱メディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読みください。なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万が一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

ご使用条件

- ・ 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- ・ このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- ・ メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

セキュリティ認証の取得状況については、公式サイトを参照してください。また、ISO/IEC 15408認証製品として使用する場合は、公式サイトから本機種の『セキュリティ機能補足ガイド』を参照し、適切に確認・設定してください。